

国士舘大学文学部准教授
国立歴史民俗博物館准教授
共愛学園前橋国際大学専任講師
秋山哲雄・田中大喜・野口華世「編」

日本中世史入門

論文を書こう

歴史を学び、考えるために――

「歴史」はたんに過去の出来事をわれわれに伝えるのではなく、現代そして未来の人々の動向を規定する「力」を持っている。そこに学問として歴史を学ぶ意義が存在している。それでは、われわれはどのように歴史と対話すべきなのか――歴史学の基本である論文執筆のためのメソッドと観点を、日本中世史研究の最新の知見とともにわかりやすく紹介、歴史を学び、考えることの醍醐味を伝授する。

本書の特長

- ① 初学者を対象に論文執筆の進め方を具体的に紹介。歴史を学ぶことの意味、研究対象の選定から論文執筆・投稿の具体的な流れまでを37のQ&Aを交えてわかりやすくレクチャーする。
- ② 初学者ならびに研究者を対象に、中世前期を中心とした研究の到達点をわかりやすく提示。16人の気鋭の研究者により、いま歴史を研究する最新の観点を、研究史の流れとともに紹介する。
- ③ 歴史学研究の手法、論文執筆のメソッドを詳細にわかりやすく伝える書籍は類書がない。卒論・修論の執筆、指導にも最適。

中世史

もくじ

まえがき：秋山哲雄・田中大喜・野口華世

I 「歴史学」を学ぶということ

- 1…「科学」としての歴史学
- 2…歴史学の醍醐味
- 3…史料批判と史料操作
- 4…日本中世史の魅力

II 論文を書こう――歴史学研究の方法を学ぶはじめに

- 1…テーマを決める
- 2…参考文献を読む
- 3…史料を読む
- 4…構成を考える
- 5…註をつける／史料を引用する
- 6…推敲する
- 7…投稿しよう

III 日本中世史研究の現在

- 中世撰関家論：中世的権門としての撰関家…高松百香
中世前期国家財政論
…税制・財政史から中世国家・社会の成立を考えるために…守田逸人
荘園史研究…中世天皇家の荘園の意味を考える…野口華世
中世武士論…中世武士のとなえ方はどう変わったか…伊藤瑠璃美
鎌倉幕府論…中世の特質を明らかにする…秋山哲雄
鎌倉幕府文士論…鎌倉幕府を支える様々な人々…赤澤春彦
鎌倉期守護論…幕府による全国統治の実態に迫る…西田友広
鎌倉幕府御家人制論…鎌倉幕府御家人制が中世後期に遺したもの…清水亮
中世武士団論…中世の武士と社会の特質を考える…田中大喜
室町殿論…室町殿とはいかなる権力体か…丸山裕之
朝廷下級官人論…朝廷を支える官僚システム…遠藤珠紀
中世寺院史…中世寺院と顕密体制を考える…石田浩子
中世村落・環境史…生活の舞台としての村落をどうとらえるか…高木徳郎
中世経済史…中世人の生活を探る…川戸貴史
中世日本・東アジア交流史…外国との関わりを考える…伊川健二
中世絵画史料論…絵画にかくされたもうひとつの日本文化…黒田智
- 執筆者一覧
研究概念・用語索引

本体 二七〇〇円(＋税)

A5判並製カバー装

三三四頁・二〇一四年四月刊行

ISBN978-4-585-22079-4 C0021

書名	部数
日本中世史入門 論文を書こう 秋山哲雄・田中大喜・野口華世「編」	部
本体2,700円(＋税) A5判並製カバー装・384頁 2014年4月刊行 ISBN978-4-585-22079-4 C0021	
ご送付先ご住所(通信欄)	

書店印

勉誠出版

※万一のご返本の際は、山田・青木了解で受付いたします。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

「II 論文を書く」では、 論文執筆から投稿までのプロセスをフローチャートでわかりやすく紹介。 各段階で押さえておきたいポイントはQ&A方式で詳しく説明。

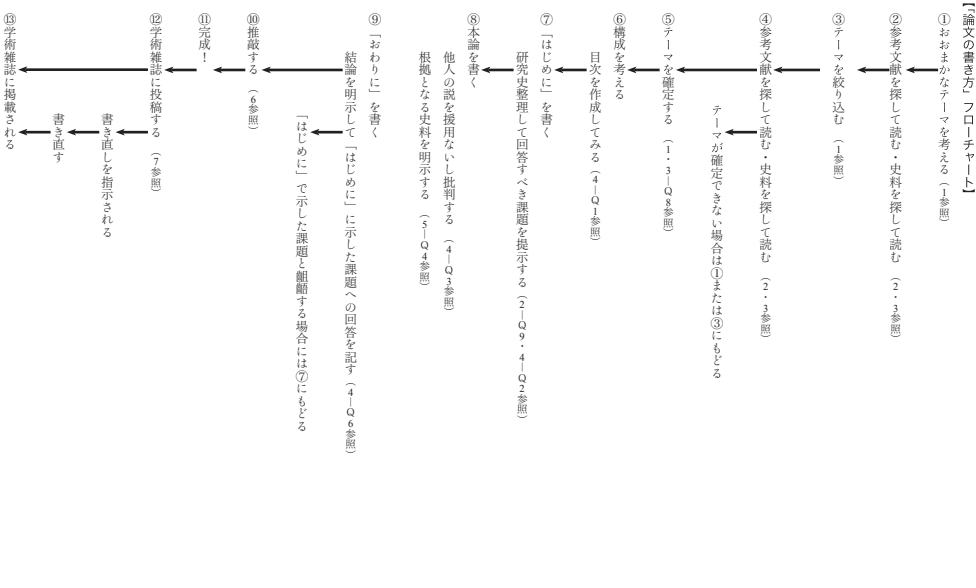
はじめに

● 頁見本

論文を書くという作業は、これまで進めてきた研究を文章としてまとめて新見を学界に問い、学問の進展に寄与することである。それだけに論文は、すでに書けるものではない。ねばりよく参考文献や史料と向き合ってテーマを絞り、どうすれば自分の主張を説得力のあるものにするかを熟慮して構成を考え、史料を深く読み込んで我田引水とならないよう本論を慎重に書き進め、読者自分の意図が伝わるよう、原に文章を推敲し、全体に矛盾がないかを広い視野で見直し、ようやく書き上げるものである。

おおまかなフローチャートを左に示した上で、まずはこれを参照しながら、後につづいて目次を読み進めていただきたい。迷ったら、面倒でもそれぞれの項目を何度でも確認していけば、必ずや納得できる論文を書き上げることができるはずである。

なお、論文を書く方法は幾通りもあるだろうし、人によっても異なる。ここで示すのは、その中の一般的な書き方のひとつであることを断っておく。



4 構成を考える

● 頁見本

Q1 書く前にまずやることは？

1でテーマを決め、2・3でそのテーマに関する参考文献や史料を読んだら、ようやく論文を執筆できる段階となる。論文を書く前には、まず全体の目次を考えることをお勧めする。目次は、当然のことながら、書き進めていくうちに変わることもあるが、最初におおまかな目次(「流れ」)を考えておくと、論文の筋道が整理できて、わかりやすい論文を書くことができる。

目次は、「はじめに」本論「おわりに」という構成をとることが多い。本論は、3章から4章の構成にするると、書きやすいだろう。また、それぞれの章の中を、さらにいくつかの節にわけると、読む側・書く側

【例1】

【武士団結合の複合的展開と公武権力】

はじめに

第一章 族縁的結合と地域的結合

第一節 鎌倉期武士団の一族結合

第二節 本領の形成と地域的結合

第三節 町場と地域的結合

第四節 小括

第二章 惣領制と惣領制

第一節 惣領制の形成と展開

第二節 惣領職の成立

第三節 家督と惣領

第四節 小括

第三章 南北朝・室町期の武士団と荘園制

第一節 南北朝内乱と領域的所領の形成

第二節 室町幕府の戦争・荘園政策と武士団

第三節 室町期の荘園制と惣領制

第四節 小括

おわりに

【例2】

【鎌倉と鎌倉幕府】

はじめに

第一章 鎌倉と鎌倉幕府の「独立」過程

第一節 鎌倉幕府の成立と鎌倉

第二節 鎌倉と鎌倉幕府の「独立」

第三節 小括

第二章 鎌倉の求心力

第一節 裁許の求心力

第二節 経済の求心力

第三節 宗教の求心力

第四節 小括

第三章 鎌倉の多核化

第一節 将軍求心力の変化

第二節 鎌倉の「地子」と「地主」

第三節 鎌倉の「宿所」

第四節 小括

おわりに

【例3】

【中世前期公家社会の変容】

はじめに

第一章 女院領とその意義

第一節 女院領の成立

第二節 御願寺の継承とその意義

第三節 小括

第二章 鎌倉前期の知行者と後鳥羽院

第一節 鎌倉期の安嘉門院による継承

第二節 後鳥羽院による知行者の改替

第三節 知行者改替の要因とその影響

第四節 承久の乱後の知行者の論理

第五節 小括

第三章 鎌倉後期の知行者の再編

第一節 安楽寿院の再編

(1) 亀山院による知行者の再配置

(2) 知行者再配置の意味

第二節 安楽寿院知行者のその後

第三節 知行者の家領形成

第四節 小括

おわりに

の双方にとって、わかりやすい内容になる。たとえば、

【例1】〜【例3】のような目次が考えられる。

すでに読んだ参考文献や史料を、どの章や節で引用するかを考えながら目次をふくらませていけば、論文の形に近づいていくはずである。まずは目次をじっくりと考えよう。

Q2 「はじめに」で書くべきことは？

「はじめに」では、論文で扱うテーマに関する研究史の整理を行う。研究史整理を通して、現時点までに明らかにされてきたこと、そして現時点で課題として残されていることを、自分なりにまとめることになる。これによって、論文の課題を明示することができるのである。

研究史整理は、論文を書くにあたってのもっとも重要な出発点であり、準備は念に行わなければならない。準備の際に必要な参考文献・先行研究や史料の収集については、2・3を参照のこと。

もし「はじめに」で提示した課題が、結論と齟齬する

7つの段階に対応した37のQ&A

1 テーマを決める

- Q1: レポートと論文の違いは？
- Q2: テーマを決める要素は？
- Q3: 興味を持てないテーマは？
- Q4: 論文を持つことが求められるときは？
- Q5: 主要な通史類・講座類は？
- Q6: 最新の研究動向を知るには？
- Q7: テーマを決める方法は？

2 参考文献を読む

- Q1: 参考文献とは？
- Q2: ふさわしい書籍とは？
- Q3: 書籍を探すには？
- Q4: 研究論文とは？
- Q5: 学術雑誌とは？
- Q6: 研究論文を探すには？
- Q7: 研究論文を入手するには？
- Q8: 参考文献の読み方は？
- Q9: 参考文献を読むときに気をつけることは？
- Q10: 参考文献を活用するには？

3 史料を読む

- Q1: 史料とは？
- Q2: 古文書を探すには？
- Q3: 古記録や編纂物を探すには？
- Q4: 地域の史料を集めるには？
- Q5: 史料を読む前にすることは？
- Q6: 史料を読むには？
- Q7: 史料を読むときに気をつけることは？
- Q8: 参考文献と史料を読んだ後は？

4 構成を考える

- Q1: 書く前にまずやることは？
- Q2: 「はじめに」で書くべきことは？
- Q3: 本論で目指すことは？
- Q4: 本論で気をつけることは？
- Q5: 史料などを適切に引用するには？
- Q6: 「おわりに」で注意すべきことは？

5 註をつける／史料を引用する

- Q1: なぜ註をつけるのか？
- Q2: どのようなときに註をつけるのか？
- Q3: 先行研究を引用する場合の註のつけ方は？
- Q4: 史料を引用する場合の註のつけ方は？
- Q5: 史料を引用する際に注意すべきことは？
- Q6: 一次史料と二次史料の違いは？

6 推敲する

- Q1: 推敲するとは？
- Q2: 文章を見直すときのポイントは？
- Q3: 文章を見直すときのポイントは？
- Q4: 誤解されない文章を書くには？

7 投稿しよう

- Q1: どうやって投稿するのか？
- Q2: 投稿すれば必ず掲載されるのか？